

研修担当者様、校内での回覧をお願いします。小1学級□□□→小2□□□→
小3 □□□→小4□□□→小5□□□→小6□□□→特別支援□□□
中1学級□□□□□→中2□□□□□→中3□□□□□→特別支援□□□□□

平成23年9月1日

小・中学校 校長 様

「鍛える国語教室」研究会（通称「鍛国研」）
代表 野口芳宏（植草学園大教授）

「鍛える国語教室」研究会（通称，鍛国研） 第2回全道大会（旭川大会）

——最終案内——

今、各教科等で「言語活動の充実」が求められている。なぜ、国語科だけでなく、各教科等にて、「言語活動の充実」が求められているのか。大きく、次の2つが理由である。

1 国語科の内容に言語活動が例示されている。したがって国語科では、言語活動が使われている。しかし、子供の言語活動は充実していない。それは国語科での扱いが不十分だからである。国語科で言語活動を使い、それを充実させる扱いをしてこなかった。だから、国語科に任せてはられない。そこで、各教科等でも言語活動を使い、充実させる「言語活動の充実」が求められた。

2 「課題を解決するために」、「基礎的な知識及び技能」を「活用」させる。その際、言語活動が必須である。課題解決の結果等を言語活動として「表現」させる授業にて、「思考力、判断力、表現力その他の能力」を育成できるからである。

つまり、各学校での「言語活動の充実」を成立させる為の最優先課題は国語科授業改善なのである。国語科には、言語活動を「習得」させ、各教科等で「活用」させる使命がある。

これまでの国語科授業では、教材に現れている言語ばかりを指導してきた。したがって、これからの国語科授業では、教材や言語活動を通して、次の2つの教科内容を指導するとよい。

A 教材を通して、教材をより深く理解させる為に必要な言語。

B 言語活動を通して、言語活動を充実させる為に必要な言語。

このように、国語科授業では、指導方法として使う言語活動を、指導内容として扱う必要もある。つまり、AとBの両者の指導の欠落が国語科授業を長く低迷させてきた原因である。

このAとBの「国語科教科内容の二重性」を理解し、授業化すれば、国語科授業を改善できる。

我々『「鍛える国語教室」研究会（通称，鍛国研）』では、上記のような主張の下、教材や指導法の開発に挑戦しています。例えば、次のような「向上的変容」を子供達全員に保障する指導法です。

1 扱いたい言語活動がある。その理想状態を教師が把握し、子供達に言語活動をさせてみる。

2 子供達の言語活動には、不備・不足・不十分がある。そこで、個々の抵抗と限界を探る。

3 個々の抵抗と限界の解決の為に事項を「学習用語」として指導し、理想状態に到らせる。

指導が必要な事項を「学習用語」と呼び、「学習用語」指導で国語科授業改善を実践しています。

国語科授業で言語活動を充実させる「学習用語」を「習得」させる。「習得」させた「学習用語」を各教科等で「活用」させる。すると、各教科等での言語活動や言語環境が充実するのです。

今回は国語科の枠を超えます。「言語活動の充実」を成立させる各教科等でのモデル授業提案です。各教科等で言語活動を扱う効果的場面。言語活動を扱い、各教科等の教科内容を習得させる指導法。各教科等で行う言語活動を充実させる「学習用語」指導法。これらの課題解決を授業で提案します。

どなたでも参加できます。お問い合わせの上、御参加下さい。心から、お待ちしております。

裏面も御覧下さい。内容等、詳細があります。

- 1 主催 「鍛える国語教室」研究会（通称「鍛国研」。代表 植草学園大教授 野口芳宏）
- 2 日時 1日目平成24年1月6日（金）10:00～18:15。2日目1月7日（土）9:30～12:30
- 3 事前受付締切日 平成23年12月21日（水）
- 4 場所 旭川勤労者福祉会館（〒070-0036 旭川市6条通4丁目、TEL0166-26-1304）
- 5 講師 野口芳宏（植草学園大 教授、千葉県教育委員）、柳谷直明（三笠小 教頭）、
太田 等（根室市立温根元小 教頭）、松本 明（北斗市立久根別小）、
富樫忠浩（洞爺湖町立虻田小）、富樫いずみ（栗山町立栗山小）、
渥美清孝（釧路市立芦野小）

6 テーマ

各教科等での「言語活動の充実」を成立させるモデル授業の開発 ～子供の幸福に貢献する学習用語指導による各教科等の授業改善～

- 7 後援 北海道教育委員会、三笠市教育委員会、旭川市教育委員会、深川市教育委員会、
函館市教育委員会、北斗市教育委員会、七飯町教育委員会（申請予定）

8 内容

1日目 「言語活動の充実」を成立させるモデル授業とその解説

- 10:00～10:45 子供の幸福に貢献する授業の条件1～学力向上の視点～ 柳谷直明
- 10:45～11:30 「言語活動の充実」を成立させた授業実践報告会1～授業者発表～
参加者の発表場面です。発表希望者は予約の際、お知らせ下さい。書式を問いません。
発表物を参加者に配付し、参加者からの批評を受け、学び合しましょう。
- 11:45～12:30 「言語活動の充実」を成立させる道徳モデル授業とその解説 野口芳宏
- 12:30～13:20 昼食・休憩
- 13:20～14:05 「言語活動の充実」を成立させる国語科モデル授業とその解説 柳谷直明
- 14:05～14:50 「言語活動の充実」を成立させる社会科モデル授業とその解説 太田 等
- 15:00～15:45 「言語活動の充実」を成立させる社会科モデル授業とその解説 富樫忠浩
- 15:45～16:30 「言語活動の充実」を成立させる算数科モデル授業とその解説 富樫いずみ
- 16:45～17:30 「言語活動の充実」を成立させる理科モデル授業とその解説 渥美清孝
- 17:30～18:15 「言語活動の充実」を成立させる外国語活動モデル授業とその解説 松本 明

2日目 子供の幸福に貢献する学習用語指導による授業改善

- 9:30～10:15 「言語活動の充実」を成立させた授業実践報告会2～参加者発表～
- 10:30～11:15 各教科等での「言語活動の充実」を成立させる授業づくりの方法 柳谷直明
- 11:15～12:30 子供の幸福に貢献する授業の条件2～心の育成の視点～ 野口芳宏

9 参加費

- ① 2日間参加——事前受付7,000円。（事前受付締切日以降7,500円。1日目お握りとお茶付）
 - ② 1日目だけ参加——事前受付5,000円。（事前受付締切日以降5,500円。お握りとお茶付）
 - ③ 2日目だけ参加——事前受付3,000円。（事前受付締切日以降3,500円）
- ※ 前日開催『国語授業の正当技術を学ぶ会』（原部剛氏主催）との連続参加の方は割引きます。
また、参加者のお子さん（小・中学生）の参加費は無料です。予約の際、申し出て下さい。

10 申込方法

- ① 予約申込——次のアドレスへパソコン・メールで予約下さい。naoir2006@topaz.plala.or.jp
- ② 事前受付——予約された方へ手続きメールを3日以内に送信します。予約申込後3日以内に返信がない場合には、再度問合せ下さい。事前受付締切日（平成23年12月21日）までへの入金で事前受付完了です。事前受付を完了された方だけへ12月23日に最終案内を郵送します。

- 11 入金先 次へ入金下さい。「加入者名 柳谷直明/ゆうちょ銀行振替口座「02790-7-52128」
通信欄に次を楷書で記入下さい。

①お名前②勤務先③参加日④最終案内送付先住所。（郵便番号と自宅か学校かの明記）

- 12 問合せ先 鍛国研は主義・主張に偏らない国語授業を目指しています。問合せは鍛国研空知ゼミ
代表 柳谷直明（三笠市立三笠小 教頭）へパソコンで。naoir2006@topaz.plala.or.jp